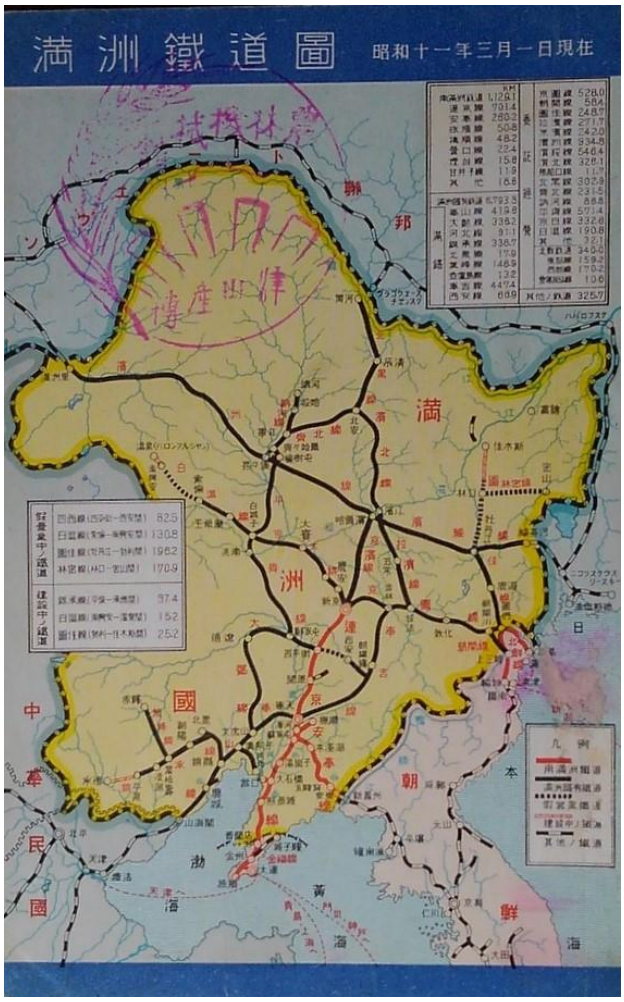
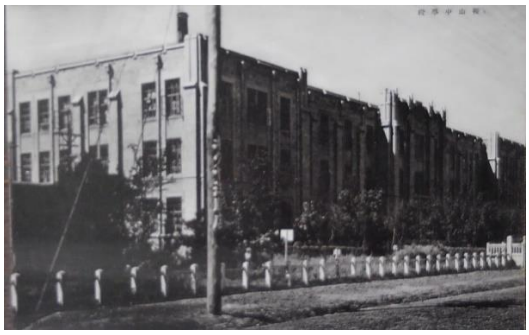
戦前期外地の文化機関を中心とした絵葉書一覧　Ⅷ. 満洲各都市

岡村敬二編

ここでは、大連・奉天・新京などの満洲主要都市以外の写真絵葉書を一覧にする。ここに出る諸都市も、満鉄沿線附属地として発展してきたが、昭和 12 年 12 月の治外法権撤廃により満洲国に帰している。



各都市 1「満洲轍道圖」



各都市 2「鞍山中学校」。ラグビー強豪校、『鞍山中学ラグビー部史』（OB 会 1987 年）が刊行されている。

各都市 3「鞍山満鉄地方事務所」。満鉄付属地の各都市では地方事務所を設けて、病院・学校・図書館から道路・下水道などまで自治体の役割を広く担った。

各都市 4「鞍山満鉄医院」

各都市 5「昭和製鋼所（鞍山）」。満鉄の鞍山製鉄所が前身。満州国治外法権撤廃後に満州重工業開発株式会社の傘下、満洲国の有力な国策会社である。

各都市 6「鞍山神社」。祭神は天照大神・明治天皇、大正 1 年 6 月の創建である。

各都市 7「(鞍山附近名勝) 満洲随一湯崗子温泉對水閣」

各都市 8「南満洲湯崗子温泉浴室ト温室」

各都市 9「（安東縣）萬般の感激にひたる公會堂」

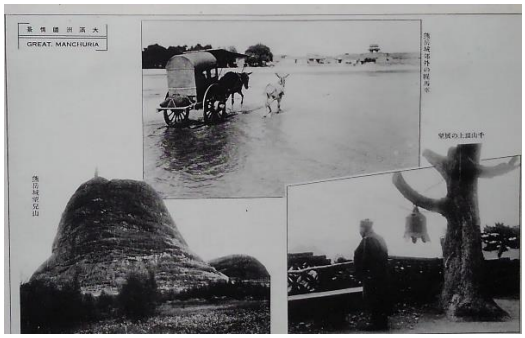
各都市 10「（大満洲百景）安東縣市街全景及（右下）同満洲人街（左下）鎮江山公園」。「鎮江山」は臨済宗妙心寺派の僧細野南岳による命名、その後満鉄により整備され森林公園という（高媛「帝国の風景 満洲における桜の名所「鎮江山公園」の誕生」『Journal of global media studies』2012 年 12 月）。

各都市 11「満洲安東公園立正大師聖像建設地開鑿工事圖 満洲開教本部發行」各都市 11「満洲安東公園立正大師聖像建設地開鑿工事圖 満洲開教本部發行」。 立正大師は日蓮である。

各都市 12「（安東縣）元寶山麓、満洲人街の安東省公署」

各都市 13「（安東市）参詣の人々に賑ふ安東神社の景観」。鎮江山公園にある。祭神天照皇大神・応神天皇・天兒屋根命。明治 38（1905）年 10 月の創建とその時期は早い。

各都市 14「（南満洲熊岳城温泉名勝）満鉄農事試験場 大正二年四月設立、総面積十一万七千八百六十二坪園芸、種藝、林産、養蠶科等あり」



各都市 15「（大満洲国情景）熊岳城望児山　千山頂上の展望　熊岳城郊外の幌馬車」

各都市 16「熊岳城寶泉山松林」

各都市 17「(営口) 御紋章燦として日本帝国の威厳を示す牛荘領事館」。営口の領事館をそう呼んだ。

各都市 18「(漢口名勝) 漢口神社」。祭神は天照大神・明治天皇・神武天皇、創建は昭和 10 年 2 月。

各都市 19「(錦州名所) 錦縣驛正面」

各都市 20「公主嶺小学校」、「駅前ニアリ」と書き入れ。スタンプ押印あり。

各都市 21「黒竜江大黒河 常盤ホテルの一部」

各都市 22「琿春日本領事館」

各都市 23「四平街の光景 南公園」

各都市 24「四平街の光景 忠霊塔」

各都市 25「四平街の展望（其三)」

各都市 26「四平街満人街」

各都市 27「娘々祭（大石橋)」。母・皇后・女神など女神を祀る娘々廟の祭り。この大石橋の祭りが有名。

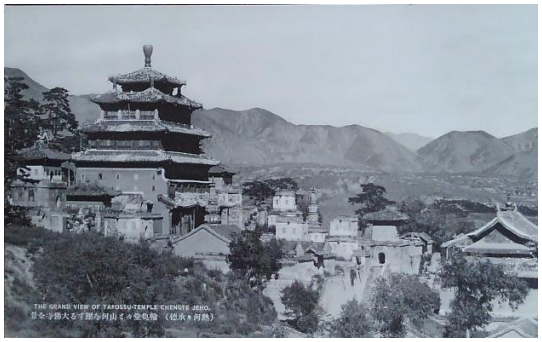
。

各都市 28「(大満洲百景）北満の都府チチハル城門)」。チチハルは斉斉哈爾である。

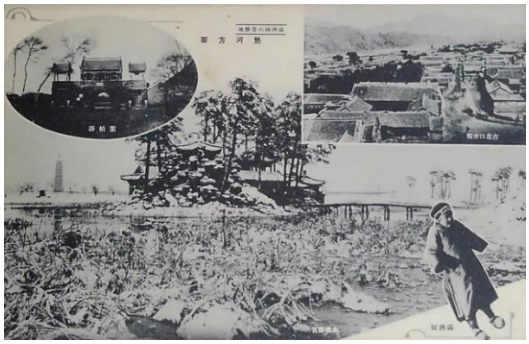
各都市 29「(熱河・承徳）山容水態絶美の離宮避暑山荘内苑大観」。清国康熙年間に創建、乾隆年間に拡張された。満洲国時代に満日文化協会の事業で保存保全がなされ調査も実施された。

各都市 30「(熱河・承徳）新装なれる承徳橋と其附近の景観」

各都市 31「(熱河・承徳）清初の文化を物語る須弥福寿廟山門の大観」。避暑山荘のほかにこの須弥山福寿廟などの外八廟から構成される。



各都市 32「(熱河・承徳）輪奐堂々と山河を圧する大佛寺全景」。点在する寺廟は、清王朝が尊んだチベット仏教の様式が特徴である。



各都市 33「満洲国の景勝地熱河方面 承徳離宮 古北口市街 葉柏壽 満洲娘」

各都市 34「満鉄齊齊哈爾公所（チチハル)」。大正 11 年 7 月に設置。

各都市 35「満洲露店ノ骨董店」

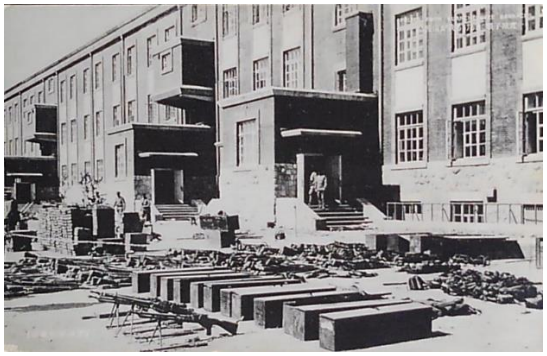
各都市 36「日本の紙芝居ー街頭の人気者からくりおやじが語る三国誌の一くさり。國治まって歴史あり？呵々

各都市 36「飯店と露天　満洲の街には到る處に露店が出てゐる。あらゆる種類の販売が露店で行われ露店売れて行く。これは露店のマンジウ売上図は満洲名物の飯店」

各都市 37「幌馬車の唄　先祖伝来の馬車に鞭打つて彼等が求める新しい世界！口づさむは李白の詩か、非ず満洲行進曲なるを！上図は鉄嶺郊外白塔附近の所見」

各都市 38「足高踊」

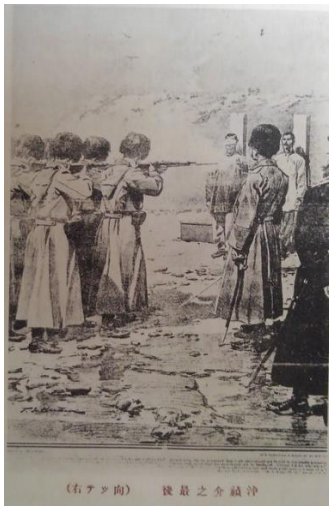
各都市 39「足高踊」（２）



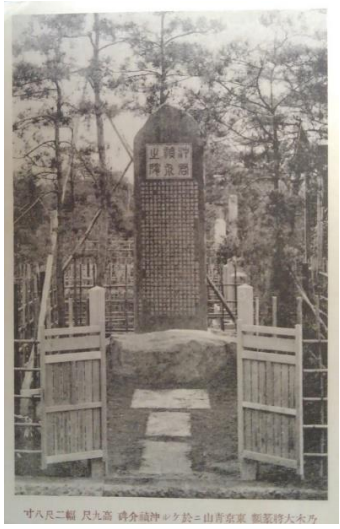
各都市 40「満洲事変戦蹟」。奉天か。

各都市 41「(溥儀肖像写真) 昭和十年四月 満洲国皇帝陛下御来訪記念絵葉書 日満協会発行」。封筒に「御不敬に渉らざる様御注意を乞ふ」とある。

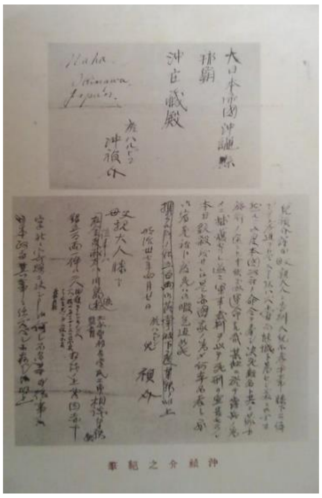
各都市 42「御宿舎赤坂離宮　昭和十年四月 満洲国皇帝陛下御来訪記念絵葉書 日満協会発行」。



各都市 43「沖禎介之最期（向ツテ右） 沖貞介記念 粛親王命名献忠堂発行」。封筒に「侯爵浅野長勲」の漢詩と「故御歌所長高崎正風」の歌が載る。

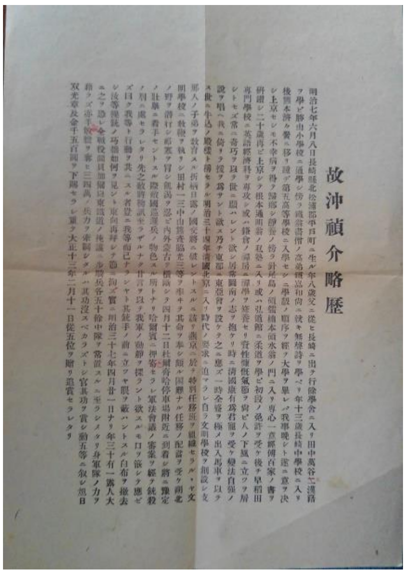


各都市 44「乃木大将篆額 東京青山ニ於ケル沖禎介碑 高九尺 幅二尺八寸」



各都市 45「沖禎介之絶筆」

各都市 46「故沖禎介記念図書館」



故沖禎介略歴

各都市 47「故沖禎介略歴」。明治 7 年生まれ。東京専門学校中退、明治 34 年中国に渡り東文学社の教員。日露戦争時に軍の特務機関に協力し露軍に捕縛、明治 37 年 4 月 21 日横川省三と共に哈爾浜で処刑。